

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立大庭小学校)

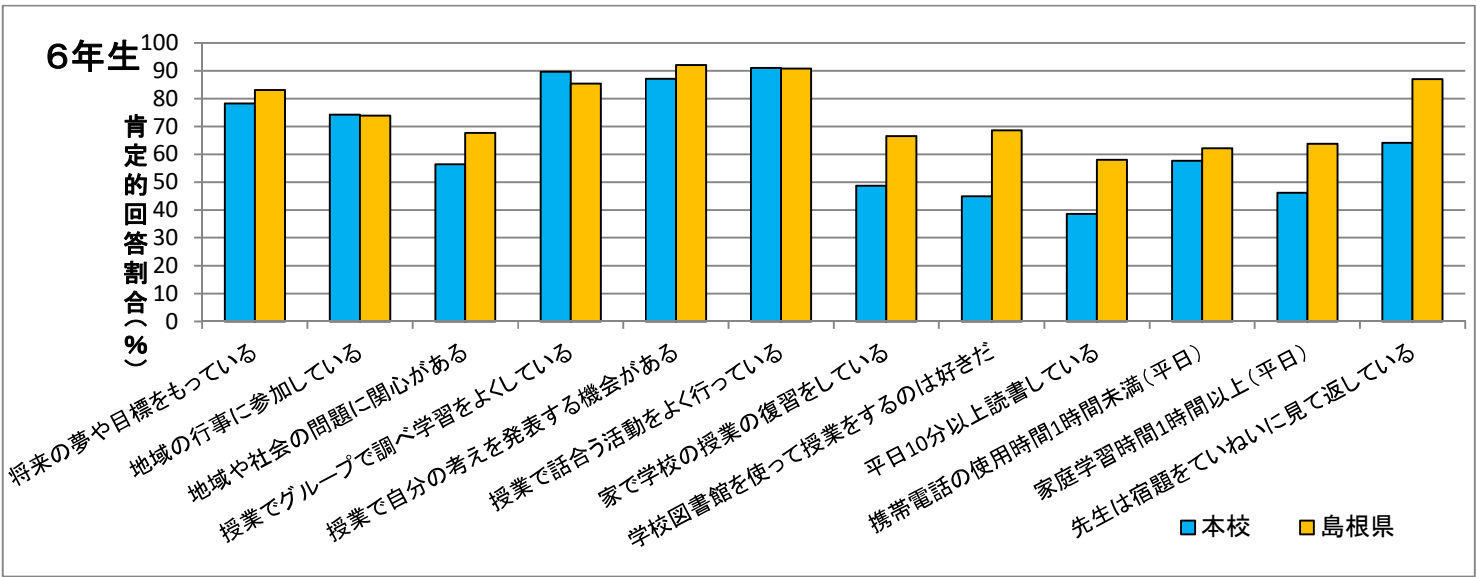
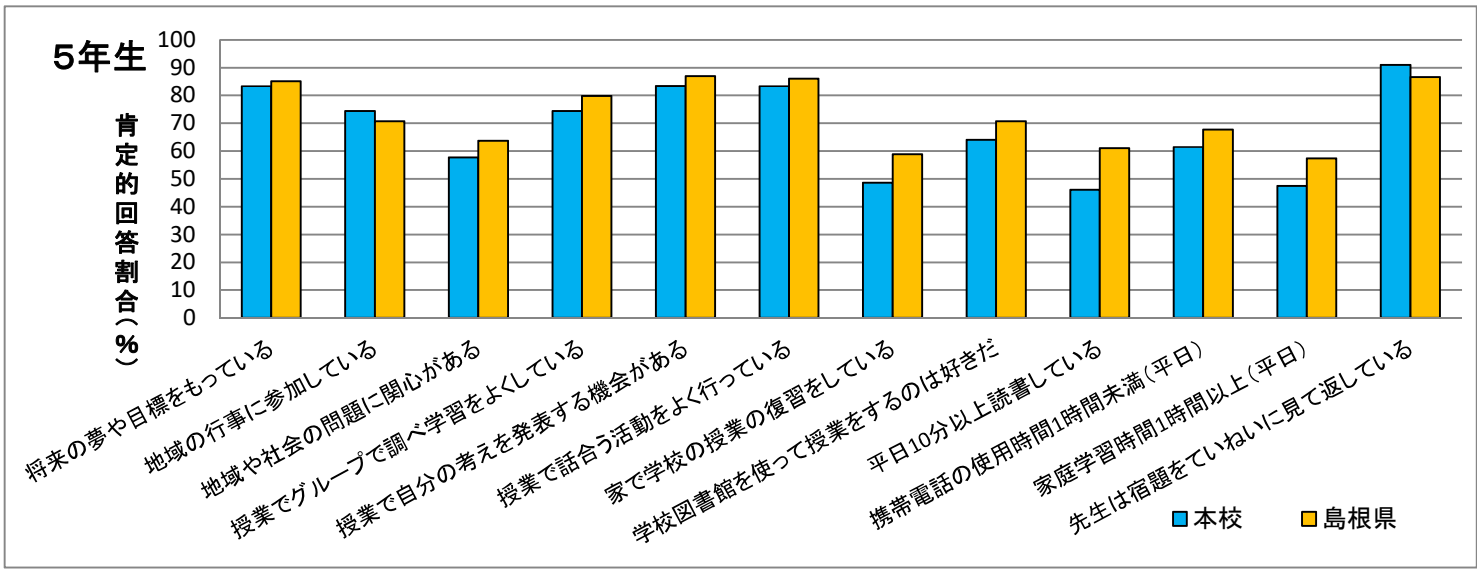
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○「話す・聞く」の問題が他より正答率が低い。 ○全体的に無回答率が低い。 ●ローマ字・漢字の正答率が低い。	・4年生の漢字など既習事項で定着していない内容については、帯時間や家庭学習を活用して、繰り返し復習をしていく。 ・ローマ字については、国語科以外の教科でも、調べ学習の時間等で活用する場を増やしていく。
	算数	○図形領域の正答率が他より高い。 ○記述式の問題が他の形式の問題より正答率が高い。 ●小数のわり算の計算で意味理解が不十分である。 ●体積の求め方など、「量と測定」の領域の正答率が低い。	・計算の意味理解のために、文章題のプリント等に取り組む時間を意図的に作り(帯時間等)、理解を深めていく。 ・体積に限らず、公式については、授業の中でも、時々話題として触れる。さらに、練習問題も繰り返し行う。
6年	国語	○「読む」の問題で他の問題より正答率が高い。 ○「段落相互の関係」を読み取る問題で正答率が高い。 ●ローマ字・漢字の正答率が低い。 ●全体的には無回答率が高いとは言えないが、極端に無回答率の高い問題が点在する。	・ローマ字、漢字等については、様々な教科で使う場を増やし、習熟できるようにしていくとともに、プリント等を使って復習ができるようにする。 ・中学校に向けて、既習の内容を振り返る時間を意図的に設定し、定着を図る。
	算数	○基本的な計算の能力がついている。 ○「縮尺」「対称な図形」の正答率が高い。 ●小数の分配法則を使った問題で、正答率が低い。 ●説明(記述)が必要な問題で正答率が低く、さらに、無回答率も高くなっている。	・これから、6年生は6年間のまとめの学習に入るため、その中で、理解が不十分な内容については、できるまで、しっかりと行うようにする。 ・説明(記述)については、実際に説明する場面を授業の中で意図的に設定し、苦手意識をなくしていく。さらにペアやグループの形態を活用していく。

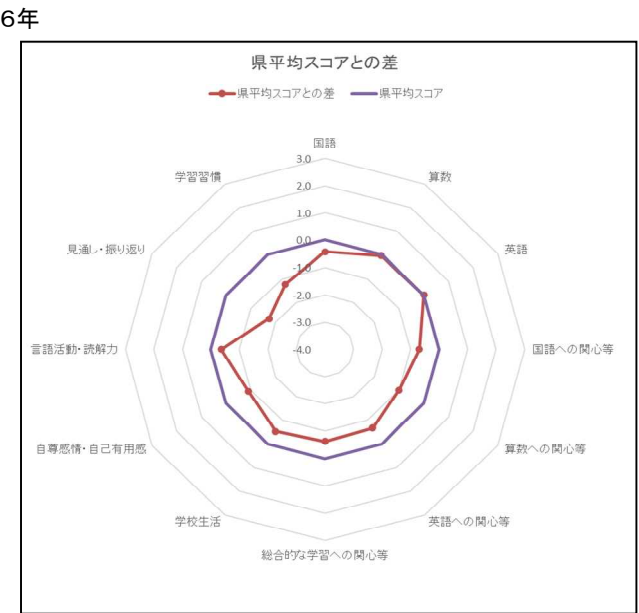
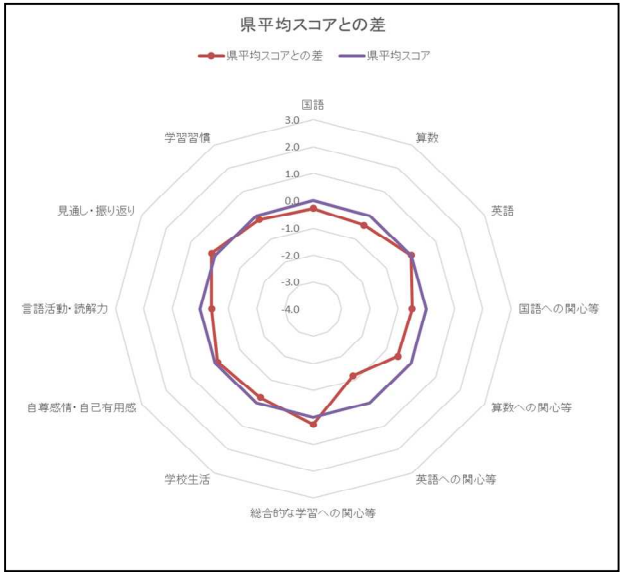
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○授業では、目標(めあて)が示されており、その目標(めあて)は児童のノートにもきちんと表されている。 ○自分で課題を立て、情報を集めて学習に取り組んでいる。 ●図書館を活用した学習での肯定的な回答の数値が低い。 ●算数好きの児童が少なく、それを生かそうとする意識にも欠ける。	・図書館活用については、校内の学習環境は整っているため、授業の中で図書館を活用する機会を意図的に作り、子どもたちの意欲を高めていく。また、頻繁に声かけをしていく。 ・算数では、授業の中で、学んだことを生かせる具体例を紹介しながら意欲を高めていく。
	家庭学習に関わる事項	○家の人と学校での出来事について話をしている。 ○宿題はほぼできている。また、計画を立てて家庭学習もできている。 ●家庭学習の時間、家庭での読書の時間が少ない。	・宿題はできているのに学習時間が少ないという結果になった。学年相応の学習時間について、保護者の方に伝える必要がある。また、声かけについても、保護者の方と連携して継続的に行う必要がある。
6年	授業改善に関わる事項	○学習規律が守られており、学校生活を楽しんでいる。 ○授業で、話し合う活動をよく行い、課題解決している。 ●図書館を活用した学習を好きだと答えた児童が少ない。 ●算数科に関する質問項目は、あらゆる項目で肯定的な回答の数値が低くなっている。	・5年生同様に図書館を活用する機会を積極的に作る。また、児童が表現する場を具体的に設定することで、表現の能力を高めることができるようにする。 ・算数科に関しては、この時期に、小学校生活のまとめや振り返りを行うことで、不安なく中学校の数学に向かえるようにする。
	家庭学習に関わる事項	○地域の行事参加は意欲的で、関心も高く、調べ学習等で地域のよさを生かしつつ学習しようとする意識が高い。 ●ゲームの時間、テレビの時間、スマートフォンを使っている時間がどれも、県の平均より多くなっている。 ●家庭学習の時間や家庭での読書の時間が少なくなっている。さらに、復習や予習の時間も少ない。	・ゲームやテレビ等の時間については、保護者啓発、保護者協力は不可欠。現状を伝えながら、協力して、指導にあたっていく。 ・家庭での復習、予習については、宿題以外の家庭学習について、機会を見つけて、何を行うべきなのか、指導していく。合わせて、6年生に必要な学習時間についても、継続的に話をしていく。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	55	49
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 78 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	43	58
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 78 人